

令和4年度 第1回 首里城復興推進本部会議

日時:令和4年6月14日(火)15:00~16:00

場所:6階第2特別会議室

進行:土木建築部 首里城復興課

次 第

1 開 会

2 報 告

- (1)これまでの首里城復興への取組状況
- (2)首里城復興基金(寄附金)活用の取組(国との協議)状況
- (3)首里城復旧・復興推進本部会議及び同ワーキンググループの設置要綱改正

3 議 題

令和4年度首里城復興基本計画推進事業(案)

4 閉 会

【報告 1】

これまでの首里城復興への取組状況

焼失直後の首里城の状況

首里城ドローン写真（令和元年11月1日時点）

全焼

一部焼失

女官居室

黄金御殿・寄満

二階御殿

正殿

奥書院

北殿

書院・鎖之間

南殿・番所・近習詰所

奉神門(北側)

令和元年10月31日未明に発生した火災により、9棟の建物が被災（全焼：7棟、一部焼失：2棟）。

木材倉庫・加工場、原寸場、素屋根、北殿北側見学通路イメージ

首里城 復興へのあゆみ ドローン空撮 Vol 2



首里城全景

CGイメージ

■ 素屋根 (令和4年度後半)

■ 木材倉庫・加工場 (令和3・4年度)

奉神門

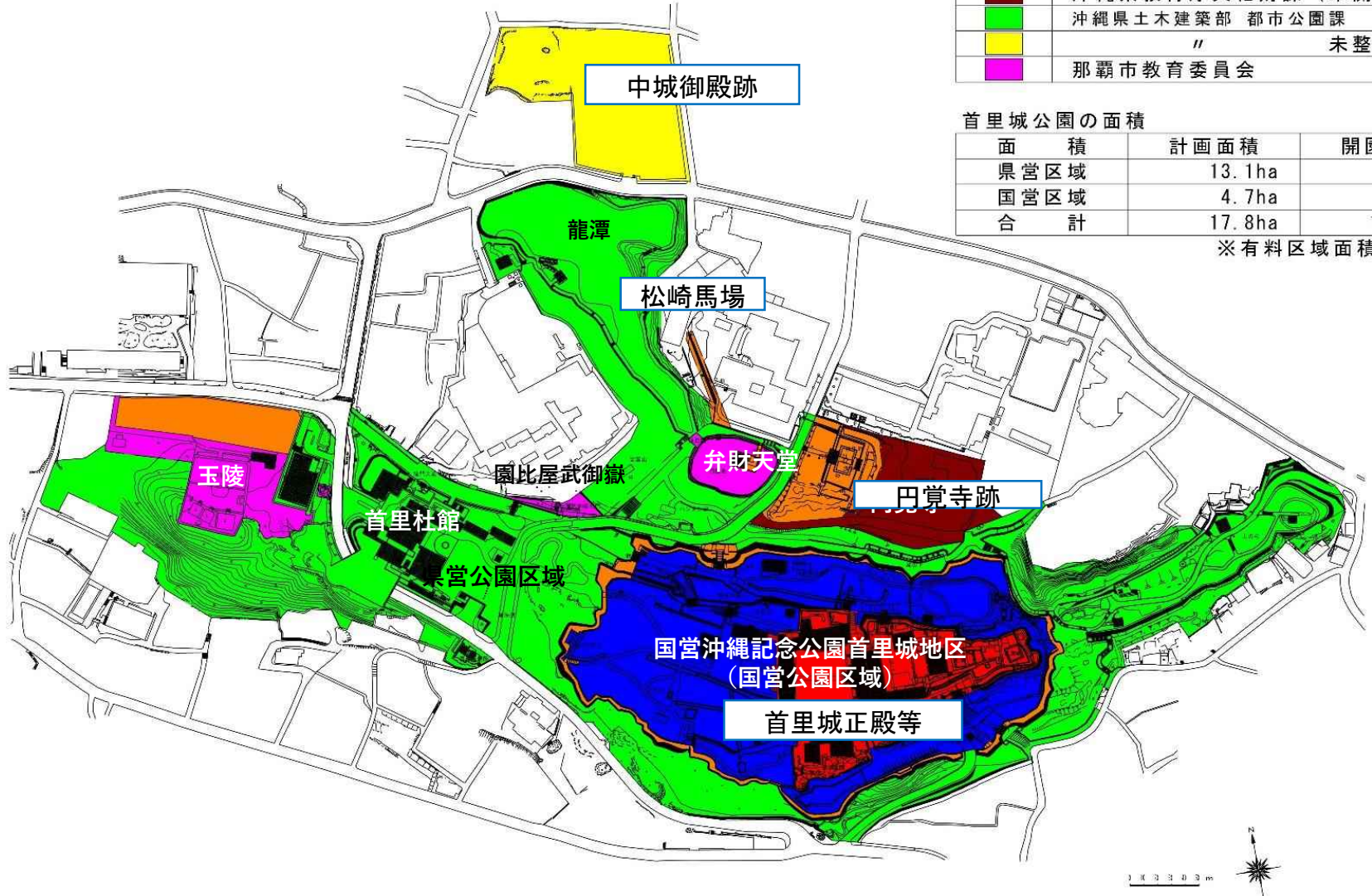
■ 原寸場 (令和3・4年度)

■ 北殿北側見学通路 (令和3年度)

今後、御庭では木材倉庫や素屋根などの仮施設が整備されていきます。

首里城公園の管理状況

首里城公園管理区分図



凡例	管理区分
■	沖縄県土木建築部 都市公園課 沖縄県国営沖縄記念公園内施設（首里城地区内施設）
■	沖縄総合事務局
■	沖縄県教育庁文化財課
■	沖縄県教育庁文化財課（未開園部分）
■	沖縄県土木建築部 都市公園課
■	〃 未整備区域
■	那覇市教育委員会

首里城公園の面積

面積	計画面積	開園面積
県営区域	13.1ha	7.21ha
国営区域	4.7ha	4.70ha
合計	17.8ha	11.91ha

※有料区域面積 1.45ha

首里城正殿等の復元に向けたスケジュール（国）

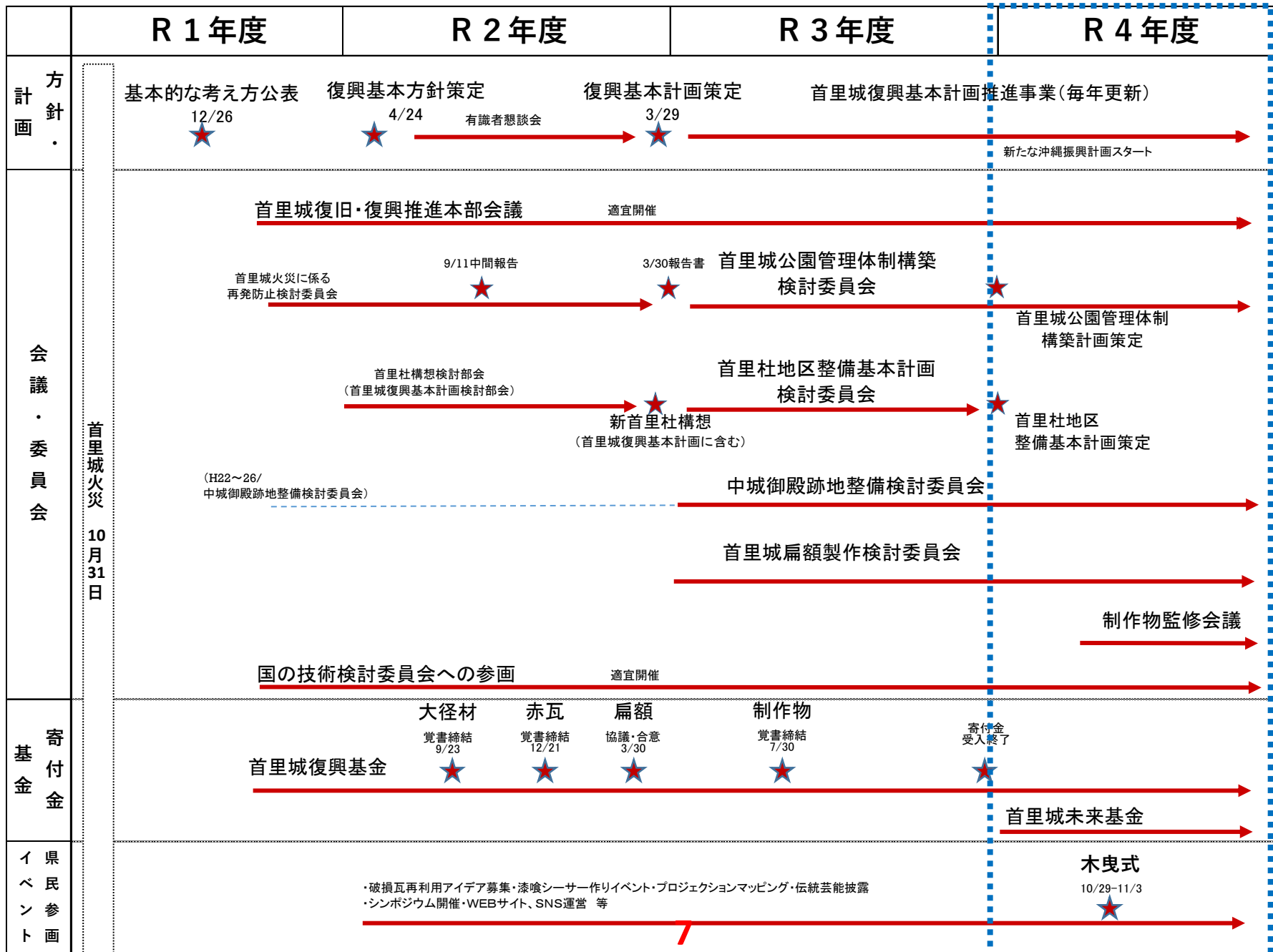
（2020年3月27日）
首里城復元のための関係閣僚会議

（年度）

		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9 以降
正殿	材料調査 （大径材）		市場調査							
	設計		基本設計	実施設計						
	材料調達 （大径材）			調達	乾燥					
	工事	仮設道路 がれき撤去		木材倉庫	発注手続(WTO)		本体工事			
北殿、南殿等			撤去	正殿復元の施工ヤードとして使用						
			検討							工事

6

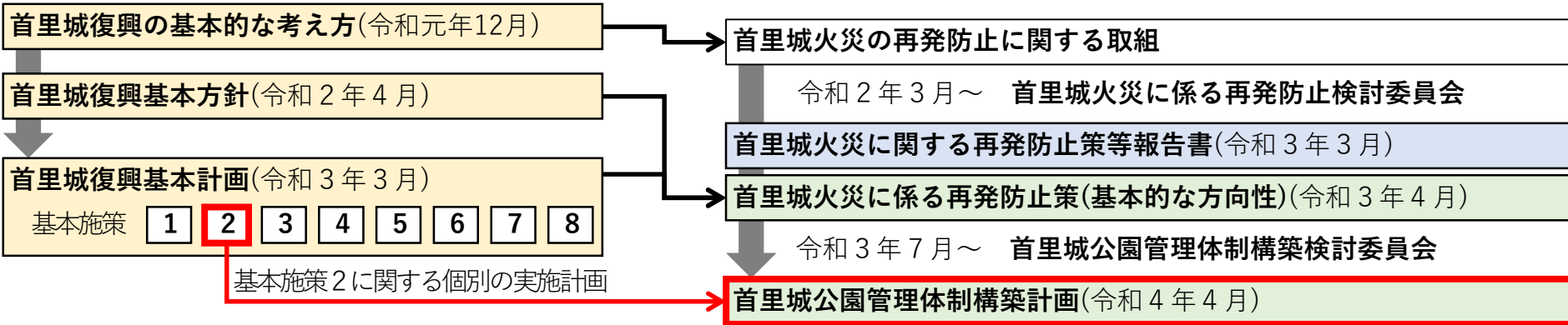
首里城復元・復興に向けたスケジュール（県）



首里城公園管理体制構築計画（令和4年4月策定）の概要

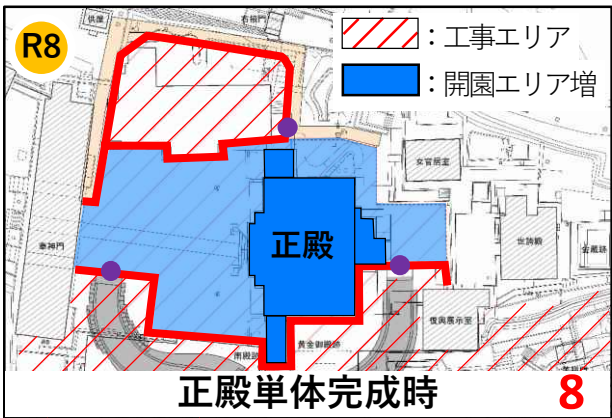
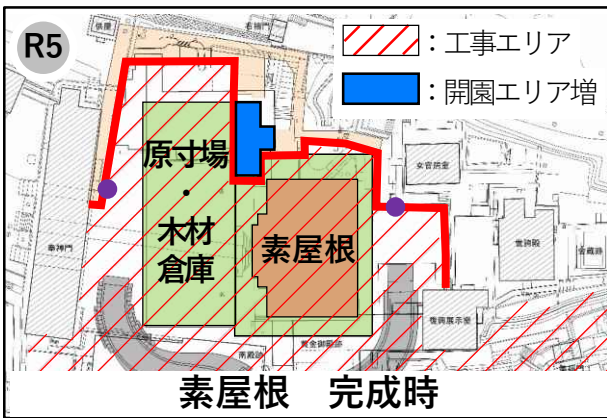
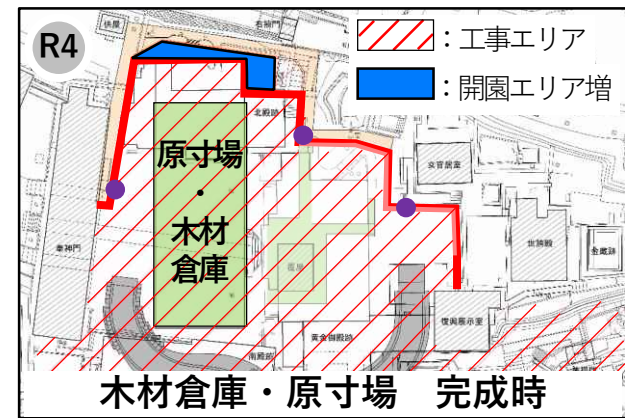
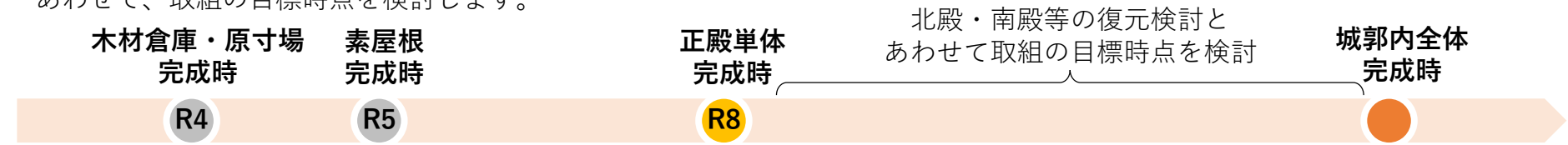
< 計画の位置づけ >

本計画は、首里城復興基本計画の基本施策2「火災の原因究明及び防火設備・施設管理体制の強化」に関する個別の実施計画であり、「首里城火災に関する再発防止策等報告書」の提言を踏まえ、沖縄県が策定した「首里城火災に係る再発防止策（基本的な方向性）」の具体的な行動計画を示すものです。



< 首里城公園の管理体制の構築を目指す時点（取組の目標時点） >

正殿工事等に伴う首里城公園内の状況の変化に応じた管理体制の構築が求められることから、本計画における**管理体制の構築を目指す時点**を以下の4つの時点としました。なお、正殿単体完成時から城郭内全体完成時までは、北殿・南殿等の復元検討とあわせて、取組の目標時点を検討します。



首里城公園の管理体制の構築に向けた取組の実施工程表

【令和4年4月策定】

年度	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
取組	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
管理運営の仕組みの見直し (制度の活用方法、業務内容等)	制度の活用方法の見直し方針 ④-1 ④-2 ④-3	防災機能の向上を目指す制度(仕組み)の詳細検討 (防火管理の適切な実行体制の確保) ④-1 ④-2	継続的な改善に向けた新たな仕組みの検討 (防災・防火対策に関する公園全体の横断的な仕組み) ④-3	公園全体での取組の実施 ④-3		
防火設備等の運用体制	次期の管理期間の業務内容(防災関連)の見直し方針 ④-2	防災センター機能の役割分担を踏まえた制度(仕組み)の検討 (消防法等の関係法令や必要な規定等の検討を含む)	初動対応等の詳細検討 ①-2 ①-3 ②-1 ②-2 ③-1 ①-4 ③-2	具体的な対応等の明確化 ①-2 ①-3 ②-1 ②-2 ③-1 ①-4 ③-2 ④-2	実施設計等を踏まえた見直し等 ①-2 ①-3 ②-1 ②-2 ③-1 ①-4 ③-2 ④-2	正殿単体完成時の管理運営
初動対応の検討 (初期消火、避難誘導等)	防災センター機能の役割分担等 (城郭内火災) ①-1	防災センター機能の役割分担等 (風水害、地震等) ①-1	初動対応等の詳細検討 ①-2 ①-3 ②-1 ②-2 ③-1 ①-4 ③-2 人員配置、詳細な役割、円滑な誘導方策、情報共有、災害情報の伝達等の検討	具体的な対応等の明確化の検討 例) 初動対応マニュアル等 ④-2	設備等の実施設計を踏まえた具体的な対応等の見直し ④-2	防災訓練等の実施 ②-3
正殿工事中の初動対応の検討	正殿工事中の防災センター機能の役割分担等 ①-1	正殿工事中の初動対応等の詳細検討 具体的な対応等の明確化、防災訓練等の検討 ①-2 ①-3 ②-1 ③-1 ①-4 ③-2 →④-2 ②-3 ・木材倉庫完成時 ・素屋根完成時	防災訓練等の詳細検討 ②-3	防災訓練等の詳細検討 ②-3	防災訓練等の詳細検討 ②-3	防災訓練等の実施 ②-3
防火設備等の整備	防火設備等の整備	正殿単体完成時に向けた防火設備等の課題の抽出	初動対応の詳細検討を踏まえた必要な訓練や研修等の検討	初動対応の詳細検討を反映	設備等の実施設計を踏まえた訓練や研修等の内容の検討	
火災受信機 監視モニター 放送設備 自家発電設備	防災センター機能の向上の考え方 ①-1	詳細検討 ①-2 ①-3 ①-4 ③-2	基本設計 ①-2 ①-3 ①-4 ③-2	実施設計 ①-2 ①-3 ①-4 ③-2	工事 ①-2 ①-3 ①-4 ③-2	
		防火設備等の詳細検討 (国と県の役割分担等を含む)	防火設備等の基本設計等 (国と県の役割分担等を含む)	全体基本計画を反映した防火設備等の実施設計等	火災受信機、監視モニター、放送設備、自家発電設備等の整備	
		復元基本方針 ※国の検討	全体基本計画 ※国の検討			
管理センター及び首里杜館の増築・改修	整備方針 ①-2 ①-3	基本設計 ①-2 ①-3	実施設計 ①-2 ①-3	増築・改修工事 ①-2 ①-3	工事 ※国が実施	
		管理センター及び首里杜館の基本設計(景観検討を含む)	管理センター及び首里杜館の実施設計(建築審査会等を含む)	管理センター及び首里杜館の増築等(防火設備等を除く)	国営公園との連携構築に伴う設備等の整備(城郭内の情報を奉神門以外への共有)	
管理運営に関する手続き等 (事業者の選定等)	①-1 ④-2 検討結果等を反映	次期・管理期間に向けた手続等	①-1 ①-3 ②-1 ②-3 ③-2 ④-2 ①-2 ①-4 ②-2 ③-1 ④-1 ④-3 検討結果等を反映	次々期・管理期間に向けた手続等		
	現在の管理期間	次期・管理期間	次々期・管理期間			
	～R5.1.31	R5.2.1(県営R5.4.1)～R8.3.31(想定)				R8.4.1～R13.3.31(想定)

中城御殿跡地整備の概要

【施設概要】

王国末期から戦前に至る王家ゆかりの屋敷で竣工間取図などの復元（再現）を可能とする根拠資料が存在する。

【事業実施場所】

旧県立博物館跡地（首里城公園（県営区域）内）

【規模・総事業費】

敷地面積：約11,330㎡

延べ床面積：約3,870㎡（RC造3,030㎡、木造840㎡）

総事業費：約55億円

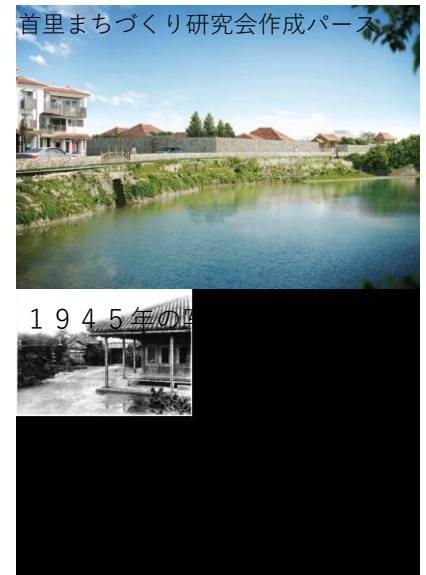
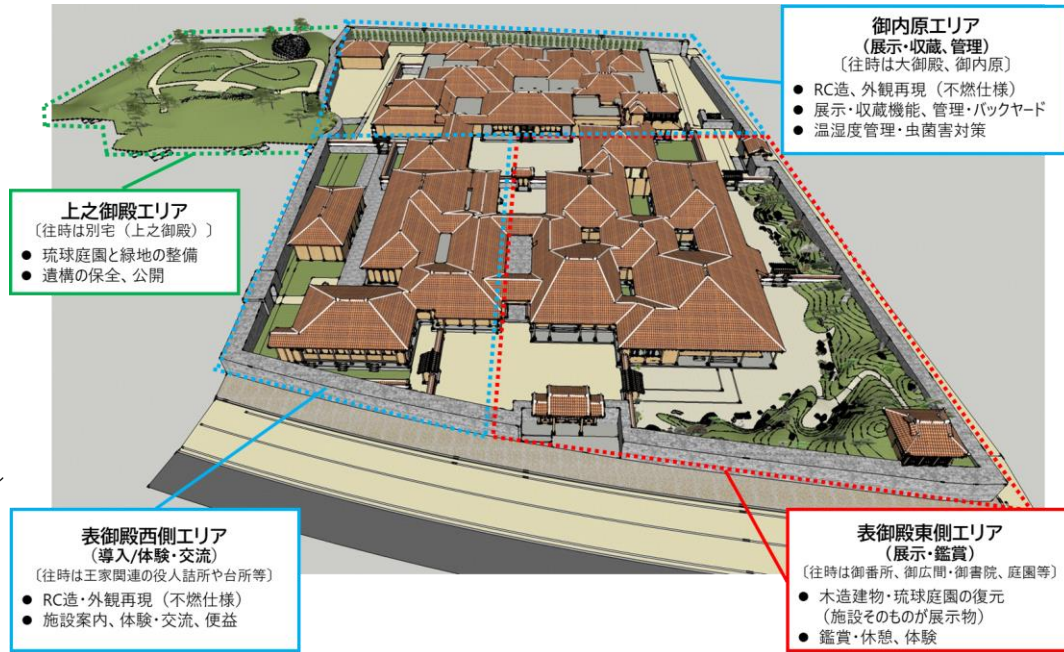
【令和3年度整備基本計画改定の概要】

- ・首里城復興基本計画を踏まえ主に以下の項目を見直し
- ①展示収蔵計画の拡充見直し（美術工芸品の保存管理）
- ②施設全体の防災・防火対策の強化
- ③公園全体の一体利用、魅力向上に資する利用の拡充

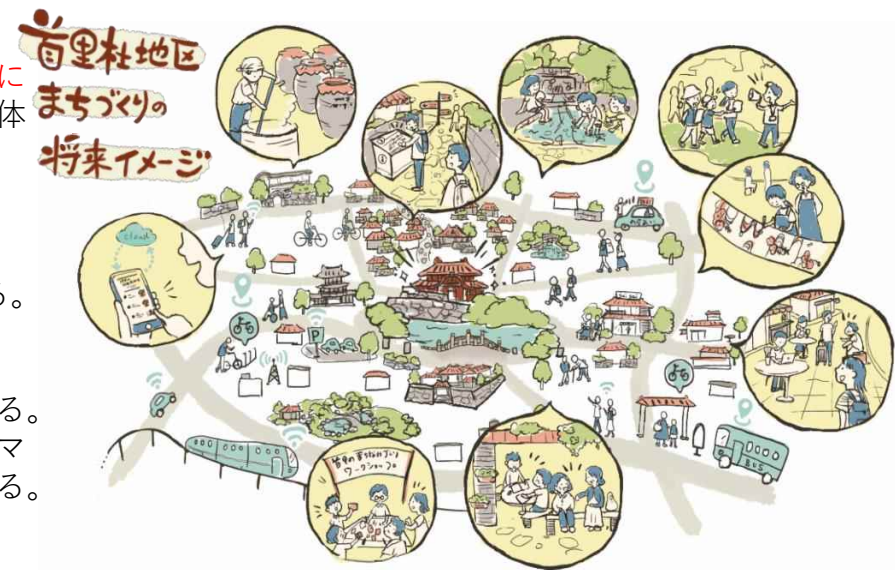
【中城御殿整備スケジュール（案）】

	項目	事業	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	令和11	令和12	令和13
			2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
城郭内	正殿復元	国営公園事業	実施設計	発注手続 (WTO)		工事	正殿完成						
			※城郭内スケジュール 令和2年3月公表「首里城正殿等の復元等に向けた工程表」参照										
中城御殿	松崎馬場など 龍潭周辺整備	社会資本整備 総合交付金事業 (公園事業)	基本計画改定	松崎馬場など龍潭周辺整備 調整、設計			工事			公開（供用開始）			
	【第1期工事】 上之御殿 (庭園・広場)	社会資本整備 総合交付金事業 (公園事業)		設計	工事			公開（供用開始）					
	【第2期工事】 御内原 表御殿西側 (RC造)	社会資本整備 総合交付金事業 (公園事業)		設計 ※時期調整中	工事			公開（供用開始）					
	【第3期工事】 表御殿東側 (木造復元)	事業化に向け 引き続き調整				表御殿東側 設計			木材調達、本体工事				

中城御殿イメージパース



首里杜地区整備基本計画（令和4年4月策定）の概要



○目的
首里城復興基本計画の基本施策に位置付けられた「新・首里杜構想による歴史まちづくりの推進」を目的とし、首里杜地区の目指す姿や具体的な施策などをとりまとめた計画である。

○計画期間
・計画期間は、令和4年度から令和13年度までの10年間とする。
・正殿完成予定の令和8年度までを前期5年、以降を後期5年とする。

○計画の特徴
計画の各取り組みについては、具体的なロードマップを整理している。また、多様な主体が連携して効果的なまちづくりを行えるよう、テーマやエリアごとに関連する施策や事業をパッケージ化した点が特徴である。

○計画の推進体制
令和4年度に、有識者、行政関係、地域団体、関係事業者等で構成する「首里杜まちづくり推進協議会」を設置し、計画の進捗管理や改善を実施予定。協議会では、県、那覇市、地域団体の三者にて事務局を担い、計画の実現に向けた推進体制を構築する予定である。

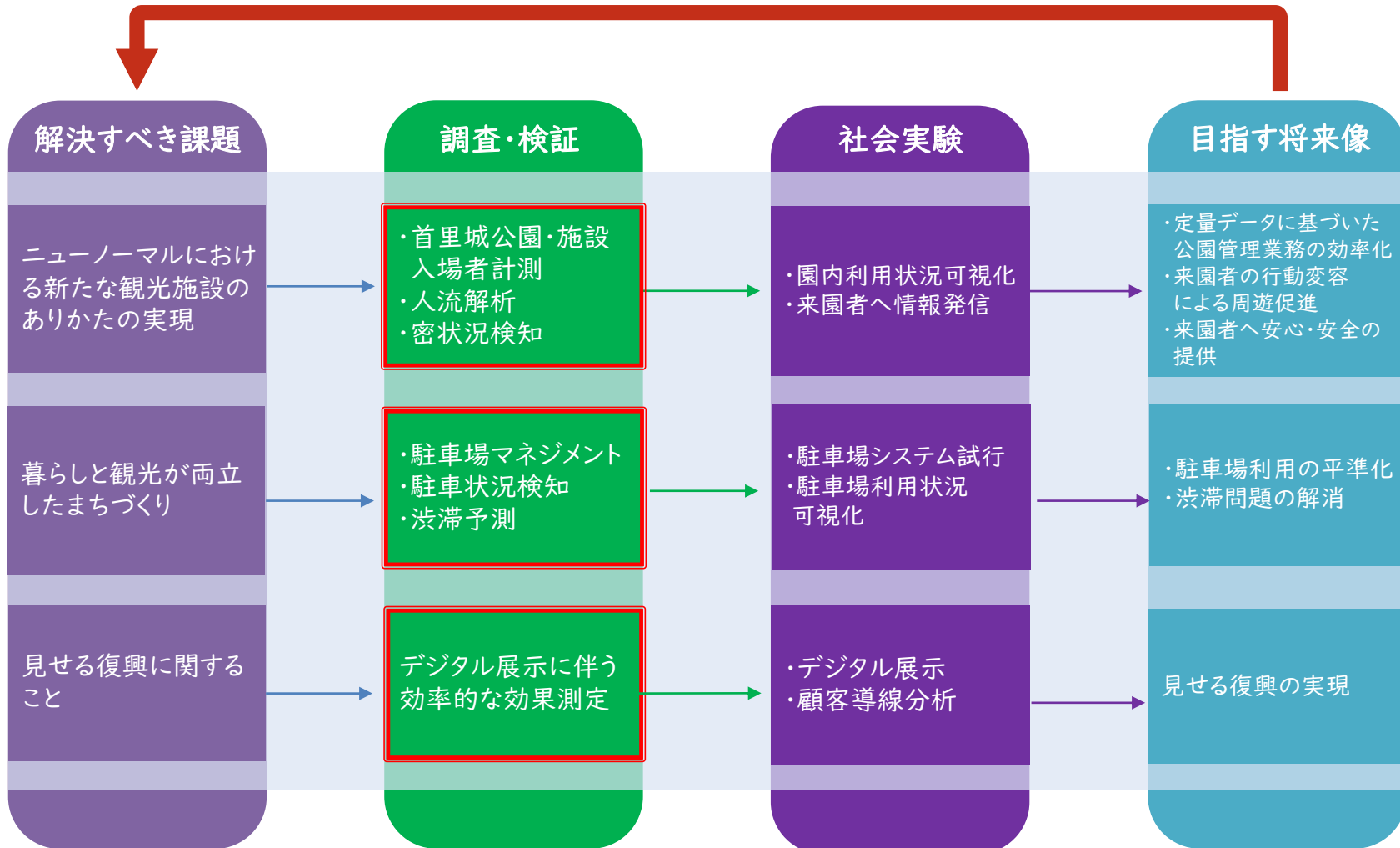
○取り組みロードマップ（一部抜粋）

方針	中項目	小項目	取り組みNo	継続Or新規	事業	事業主体	2026(令和8)年 首里城正殿完成予定									
							前期(5年)					後期(5年)				
							2022年度 令和4年度	2023年度 令和5年度	2024年度 令和6年度	2025年度 令和7年度	2026年度 令和8年度	2027~2031年度 令和9~13年度				
(1)古都首里を感じられる空間の創出	①古都首里を感じられる良好な景観形成の推進	景観に配慮した良質な公共空間の創出	4	継続	無電柱化推進事業（県道49・50号線）	県(道路管理課)	調査(文化財)	→	→	→	設計	→	→	工事	→	
			5	継続	公共事業における景観アセスメント	県(都市計画・モノレール課)	景観アセスメント対象事業の選定・実施	→	→	→	→	→	→	→		
		③共創の景観まちづくりの推進	地域人材の育成	11	継続	沖縄らしい風景づくりに係る人材育成	県(都市計画・モノレール課)	人材育成・シンポジウム等の計画・実施等	→	→	→	→	→	→		
(2)歴史文化資源等の保全・整備・活用	②幅広い歴史文化資源の再評価と保存・活用	推進に向けた調査・計画の策定	15	新	第32軍司令部壕保存・公開	県(女性力・平和推進課)	有識者委員会における検討	→	→	→	→	→	→	→		
			16	継続・新	中城御殿跡地整備	県(首里城復興課・都市公園課)	設計	→	→	→	→	→	工事	→		
			17	継続	円覚寺三門復元工事	県(文化財課)	工事	→	→	→	→	→	→			
			18	継続・新	龍潭周辺整備(松崎馬場、世持橋等)	県(首里城復興課・都市公園課)	調査・設計	→	→	→	→	→	工事等(順次実施)	→		
			20-1	新	指定文化財周辺の環境整備(南城郭、継世門等の修復保全)	県(文化財課)	調査・設計・工事等(順次実施)	→	→	→	→	→	→	→		
	③歴史文化資源の魅力向上・活用や新たな資源の創出	地域と協働による新たな文化資源の創出	21-1	新	地域資源の調査及び修景等	県(首里城復興課)	取り組み方針の検討	→	→	→	→	→	調査・設計	→	整備等(順次実施)	→
			22	継続・新	渋滞ボトルネック対策	県(道路街路課)	交通量調査、渋滞長調査、対策検討、対策実施(順次実施)、効果検証	→	→	→	→	→	→	→		

首里城復興におけるDX実現への検討

目指す将来像と解決すべき課題からのバックキャストिंग(※)で「DX:デジタルトランスフォーメーション」を実現

(※)バックキャストिंग:「未来のあるべき姿」(目指す将来像)から逆算して、改善を繰り返して実現を目指すこと



□ ……R3年度着手中

令和3年度首里城復興イベント概要

令和3年度
首里城復興イベント
興を願ひ、
応援しよう。

開催期間 | 2021.10/30(土)・31(日)・11/3(水)

参加無料 オンラインで視聴・参加しよう!!
琉球文化・歴史を学び、体験できる3日間!!

事前予約制 オンライン体験
参加記念品プレゼント
200名

首里城の破損瓦でつくる
漆喰シーサーづくり

1日定員200名様限定のオンライン無料ワークショップ。火災で破損した首里城の瓦を用いて「漆喰シーサーづくり」を行います。専任スタッフが丁寧にレクチャーするので、お子様でも気軽に楽しめます。

時間 ①10:00～12:00
②14:00～16:00

色塗りをした完成写真を送ろう!
漆喰シーサー写真展

応募期間 2021年10月30日(土)～11月17日(水)
展示期間 2021年11月20日(土)～12月19日(日)

オンライン上映 首里城プロジェクションマッピング

首里城公園内に現存する「歡会門」「北城郭」「広福門」「頂の内」の4箇所が映像と音楽に彩られ、お昼に見る姿とは異なる趣をオンラインでお楽しみいただけます。

オンライン上映 首里まちを学ぼう! 首里周遊ガイド

首里城にまつわる貴重なスポットや歴史ある城下町を巡る「オンライン首里周遊ガイド」、小学生から大人まで楽しめる3つのコースをご用意いたしました。この機会にぜひ首里のまちを巡り、さまざまな角度から琉球の歴史・文化をご体感ください。

時間 ①10:00～ ②13:00～ ③15:00～

◆首里物語り ◆世界遺産 玉陵と「金城町石畳」めぐり
◆首里城下町物語～湧き水を訪ねて～

首里城の現在の復興状況も紹介します!

ものづくり体験×地域交流 R4.3/5～6 会場：中城御殿跡




旗頭我栄

ナイトタイムコンテンツ R4.3/4～6 会場：首里城公園



天の川プロジェクト



首里天め群星

夜の琉球芸能(下之御庭・北城郭ステージ)




オキナワウラジログシ苗木づくり等 R4.2/28 会場：国頭村

①「国頭村と首里城のつながり」を学ぶ出前講座
②「未来の首里城に」子どもたちの苗木づくり(オキナワウラジログシの後継木)




13

学術機関と連携したシンポジウム開催

琉球大学・県立芸術大学・県の共催で首里城復興の学術的なシンポジウム（オンライン）を開催



地域とともに豊かな未来社会をデザインする大学

第8回 琉大未来共創フォーラム

Island wisdom for the world, for the future.

沖縄県・沖縄県立芸術大学・琉球大学共催

首里城再興学術ネットワーク シンポジウム2021

～首里城の復興、まちづくり、琉球文化のルネサンス～

日時：令和3年10月3日(日)

10:00～16:30

◇プログラム◇

開会挨拶：陳多野 泉 沖縄県立芸術大学長

第1部：口頭発表（演者8組）

昼の部開会挨拶：玉城 デニー 沖縄県知事

第2部：基調講演 田名 真之 氏（沖縄県立博物館・美術館館長）

第3部：ポスターセッション（発表16題）

第4部：パネルディスカッション

閉会挨拶：西田 睦 琉球大学長

WEB開催
(定員450名)

事前お申込みについて（先着450名）

◆お申込み方法：申込フォーム(右のQRコード)から必要事項を入力の上、
9月27日(月)17:00までにお申込みください。
WEB参加方法等のご案内をお送りいたします。
お電話、FAXでのお申込みは受付できませんので、ご了承ください。
※定員に達した場合、期日より前に締め切る場合がございます。

◆QRコードが読み取れない場合はこちら⇒<https://forms.office.com/r/A32fzvukZF>

協力：一般財団法人沖縄美ら島財団、NPO法人首里まちづくり研究会、沖縄国際大学南島文化研究所、
後援：内閣府沖縄総合事務局、那覇市、一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー、NHK沖縄放送局、FMレキオ、
沖縄テレビ放送株式会社、株式会社沖縄パルムス社、株式会社ラジオ沖縄、株式会社琉球新報社、琉球朝日放送株式会社、
琉球放送株式会社

お申込フォー



第8回 琉大未来共創フォーラム首里城再興学術ネットワークシンポジウム2021プログラム

お申込みいただいた方へメールでプログラムへのWEB参加方法等のご案内をお送りいたします。

第1部：口頭発表（Zoomウェビナーにて開催 10:00～12:10）

- ① 計画 「首里城再興学術ネットワーク」について（琉球大学研究推進機構特命教授 富永 千尋）
- ② 歴・文 「琉球文学大系」刊行事業について（名桜大学国際学群上級准教授 照屋 理）
- ③ 収蔵品 首里城美術工芸品の現状とこれから（沖縄美ら島財団総合研究センター琉球文化財研究室室長 幸喜 淳）
- ④ 収蔵品 漆工品の復元製作と後継者育成（沖縄県立芸術大学 美術工芸学部 工芸専攻漆芸分科 准教授 當眞 茂）
- ⑤ 正統 発掘調査成果から見る首里城正統跡（沖縄県立博物館・美術館 主任学芸員 山本 正昭）
- ⑥ 正統 首里城正統復元に向けた首里城瓦に関する調査研究（沖縄県工業技術センター環境・資源班主任技師 花城 可英）
- ⑦ 正統 首里城復元に係る県産木材の活用について（沖縄県農林水産部森林管理課主幹 比嘉 政隆）
- ⑧ まち 50年後、どんな首里のまちにしたいですか ー住民目線で発信する街づくりの提言ー
(NPO法人首里まちづくり研究会理事長 伊良波 朝義)

第2部：基調講演（Zoomウェビナーにて開催 13:00～13:55）

首里城復元の意義と課題（沖縄県立博物館・美術館館長 田名 真之）

第3部：ポスターセッション（ポスターは首里城再興学術ネットワークHPに掲載 14:00～15:00の間、Slackにて質疑応答を実施します）

- ① 計画 首里城復興基本計画について（沖縄県知事公室特命推進課主幹 大瀧 長健）
- ② 計画 「首里城再興学術ネットワーク」について（琉球大学研究推進機構特命教授 富永 千尋）
- ③ 歴・文 「琉球文学大系」刊行事業について（名桜大学国際学群上級准教授 照屋 理）
- ④ 歴・文 首里城再建と蔡文博（名桜大学国際文化研究科博士後期課程院生 前堂 颯史）
- ⑤ 歴・文 あの世の住まいに立つ龍柱 ー近世琉球の人びとの首里城イメージー
(沖縄国際大学総合文化学部准教授/沖縄国際大学南島文化研究所 宮城 弘樹)
- ⑥ 収蔵品 首里城美術工芸品の現状とこれから（沖縄美ら島財団総合研究センター琉球文化財研究室室長 幸喜 淳）
- ⑦ 収蔵品 漆工品の復元製作と後継者育成（沖縄県立芸術大学美術工芸学部 造形芸術研究科准教授 當眞 茂）
- ⑧ 正統 平成の首里城復元（沖縄県立博物館・美術館主任学芸員 宮城 修）
- ⑨ 正統 首里城正統復元に向けた首里城瓦に関する調査研究（沖縄県工業技術センター環境・資源班主任技師 花城 可英）
- ⑩ 正統 非破壊的な理化学分析による首里城瓦の製作技術の変遷の解明（琉球大学博物館(風樹館)助教 佐々木 健志）
- ⑪ 正統 放電プラズマ焼結法を用いた首里城破損瓦をリサイクルしたセラミックスについて
(琉球大学大学院理工学研究科院生 新城 友秀、琉球大学工学部学生 三宅 正将、琉球大学工学部准教授 神田 康行)
- ⑫ 正統 首里城復元に係る県産木材の活用について（沖縄県農林水産部森林管理課主幹 比嘉 政隆）
- ⑬ 正統 首里城正統再建に使用する県産木材の基準強度評価プロジェクト（琉球大学工学部教授 カストロ ホワンホセ）
- ⑭ まち 50年後、どんな首里のまちにしたいですか ー住民目線で発信する街づくりの提言ー
(NPO法人首里まちづくり研究会副理事長 平良 斗星)
- ⑮ まち 複層的な首里歴史まちづくり ー城下町首里の都市形成史と水と緑のランドスケープー
(琉球大学工学部教授 小野 尋子)
- ⑯ まち 複層的な首里歴史まちづくり ー首里「瑞泉」環境をSTEAM/SDGs教育に活用するプロジェクトー
(琉球大学理学部教授 古川 雅英)

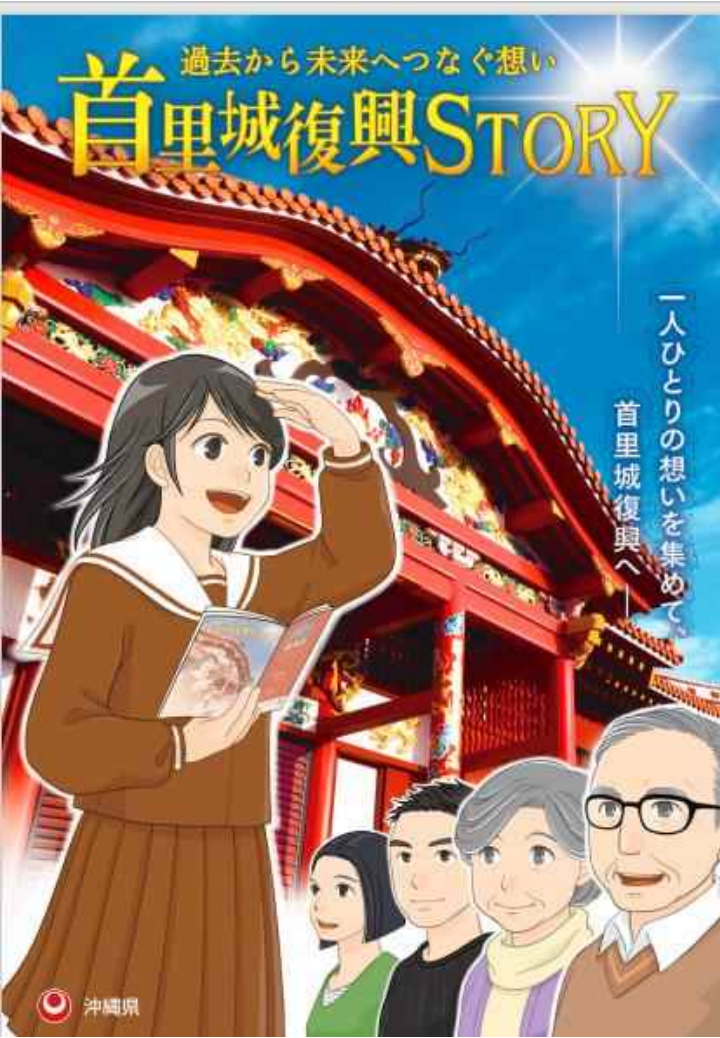
第4部：パネルディスカッション（Zoomウェビナーにて開催 15:15～16:30）

学術ネットワークの役割 ～首里城の復興、まちづくり、琉球文化のルネサンス～
ファシリテーター：木暮 啓（琉球大学企画・研究担当理事・副学長）
パネリスト：田名 真之（沖縄県立博物館・美術館館長）、下地 芳郎（沖縄観光コンベンションビューロー会長）、
小林 純子（沖縄県立芸術大学美術工芸学部長）、いのうえ ちず（首里まちづくり研究会副理事長）、
島袋 芳敏（沖縄県政策調整室）

【個人情報について】本フォーラム申込み等でご取得した個人情報については、本学の個人情報管理規則に基づき適切に管理し、本フォーラムの参加者への案内・運営以外の目的には使用いたしません。

首里城復興の次世代継承に向けた取組（副教材作成・配布）

- 首里城に象徴される沖縄の歴史と文化を次世代へ継承していくため、「首里城復興STORY～過去から未来へつなぐ想い～」を発行し、県内全ての小・中・高・支援学校にDVD又は冊子を配布。一部学校での出前授業も実施した。
- 本冊子は動画にし、首里城復興サイトに掲載しており、いつでも閲覧可能。



詳細は、「首里城復興サイト」をご覧ください。

首里城復興サイト 🔍 検索

<https://www.shurijo-fukkou.jp/video/>



県内中学校での出前授業の様子

多様な主体による首里城復興への思いを発信（動画製作）

○ 世代や立場を超えて、様々な主体による首里城復興に対する多様な取組が相互に連携・協働できるよう、関係者へのインタビュー動画「[#つなぐ首里城](#)」への思いを公開。（副教材用のコンテンツもあわせて掲載）



首里城復元工事の国担当者



管理体制に関する検討委員会の委員長



首里城公園の県担当者



被災した美術工芸品の修理担当者



伝統芸能を学ぶ大学生



伝統工芸を学ぶ大学生



首里で活動する地域団体代表者



首里の景観まちづくり担当者



首里の魅力を紹介する観光ガイド



首里織の継承に取り組む織り手



現代版組踊の舞台上に立つ中高生



首里城募金活動を主催した学生



首里城再興に関わる研究者たち



首里城応援ソング作曲家



首里城を県外学生へ情報発信する高校

（副教材コンテンツ）



首里城復興STORY
～過去から未来へつなぐ思い～



琉球文化「組踊」を学ぶ

詳細は、「首里城復興サイト」をご覧ください。
<https://www.shuri-jo-fukkou.jp/video/>

首里城復興サイト 🔍 検索

首里城図柄入り自動車ナンバープレート導入計画

(1) 地方版図柄ナンバープレート制度の概要

- ✓ 国土交通省においては、“走る広告塔”としてのナンバープレートの機能に着目し、地域の風景や観光資源を図柄にした地方版図柄入りナンバープレートを交付している。
- ✓ ナンバープレートの発行費用時、1,000円以上の寄付をしてくれた場合、フルカラーとなる。この寄付金は、導入地域における地域交通のサービス改善、観光振興などに資する取組への「助成事業」に活用される。



(2) 首里城図柄プレートの導入で期待できる効果

イメージ(デザインは1つのみで、白黒とカラーがある)

- ✓ プレートを導入することにより、県民の首里城復興への継続的な関心につながる。
- ✓ プレート発行に伴う寄付金を活用し、地域を主体とした首里城近辺の交通問題解消、観光と調和したまちづくり等に継続して取り組むことが可能。

(3) 令和3年度の取組状況

- ✓ 県内41市町村全てから、首里城をモチーフとした図柄導入への同意取得済み
- ✓ 国(沖総局)、美ら島財団、OCVB、レンタカー協会、県による検討チーム発足済み
- ✓ 県内在住の18歳以上を対象にアンケートを実施し、71.3%が首里城図柄導入に賛成(サンプル数736)

	(736)	100%
賛成である	525	71.3%
反対である	51	6.9%
どちらでもよい	160	21.7%

(4) 今後のスケジュール

- ✓ R4年度中に国へ導入申請、デザインを決定
- ✓ R5年度にプレート発行開始予定